



### めざす学校像

互いに認め合い、高め合う学校  
みんなが安心できる居心地のいい学校  
開かれた学校（学校・家庭・地域がつながりあうことを大切にする学校）

思いやりのある子  
めざす子ども像  
粘り強くたくましい子  
自ら考え行動する子

令和3年（2021年）1月19日 発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/

いつでもここに ④はたけ ⑤のびのび 野畑 合言葉 ⑥バリアフリーで 笑顔がいっぱい ⑦体験 楽しい 学びたい ⑧計画立てて 相談 確認

## 1月14日(木)に地震・火災避難訓練を行いました。

1995年1月17日 午前5時46分。

阪神淡路大震災が発生し、私たちの大切なものを数多く奪っていきました。

今年も、震災でお亡くなりになられた方を追悼するとともに、震災で培われた「きずな・支えあう心」「やさしさ・思いやり」の大切さを次世代へ語り継いでいくため、神戸市中央区の東遊園地で「阪神淡路大震災 1.17 のつどい」が行われました。（右記毎日新聞1月17日朝刊参照）

野畑小学校でも、毎年、この日に合わせて「地震・火災」の避難訓練を行っています。

今年は、コロナの感染拡大防止のため、「密」を避けなければならない状況の中で全校が一斉に動く避難訓練を実施すべきかどうか悩みましたが、コロナ禍であっても災害は待ってくれない、子どもが自ら判断・行動する能力を身につけるための訓練を実施することは必要であると考え実施することにしました。

学校は、考えられる災害を最大限想定し、その災害に対応した避難場所の想定と避難の具体的方法を共有し、その訓練をしておくこと。避難訓練は、子どもが自ら判断・行動する能力の向上を意識し、教職員と認識を共有しつつ、全体として主体的に動くことのできる訓練であることが大切だと考えています。一般的に学校での避難訓練は教員が先頭に立って指示する「集団行動」型訓練になりがちですが、管理・誘導のみを意識し、子どもを指示の対象・受け身の立場に置くやり方では、災害時に主体的に動くことのできる子どもは育ちません。子どもが自ら判断・行動する能力を身につけるためには、教職員と子どもが、起こり得る具体的事態や避難の意味・あり方を共有しつつ訓練を実施することが特に大切だと考え、今回の避難訓練も、事前に地震が起きたとき自分はどうしなければならないのかを、様々な場合を考えてイメージしてから臨みました。

避難訓練当日は、「密」を避けながら避難し、運動場でも前後左右を1m開けて並びました。650人が1m開けて並び運動場の端から端までになりますが、子どもたちは、誰一人しゃべらずに話している人の方を向いているので、それだけ広がっていきながらもマイクなしで訓練を終えることができました。

東日本大震災のとき、岩手県の釜石市では、約1,300人もの方が亡くなったり行方がわからなくなったりしました。大槌湾に面した鶴住居地区も、津波で壊滅状態となりました。しかし、この地区の鶴住居小学校と釜石東中学校にいた児童・生徒約570人は、全員無事に避難することができました。これは「釜石の奇跡」とよばれています。「釜石の奇跡」は、子どもたちが、単に運が良かったからというのではなく、この地域で日ごろから行われていた防災教育を学んだ子どもたちが自分たちの普段から行っている行動を当たり前実践した結果が起こしたものです。

子どもたちの大切な「いのち」をお預かりしていることを改めて意識し、日々の取り組みを進めていきたいと思います。



豊中市では1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日～21日を「防災とボランティア週間」として様々な取り組みをしています。その取り組みの一つとして、豊中市が備蓄している非常用保存食で賞味期限が近づいて入れ替えが必要になったもの（左の写真・今年はわかめご飯）を毎年6年生の児童に配っています。今年も14日に配布しました。わかめご飯といっしょに配られたお手紙を裏面に掲載しています。6年生以外のご家庭のみなさんもぜひご一読ください。

## 阪神大震災26年

### 記憶継承心は一つ

6434人が犠牲となった阪神大震災は17日、発生から26年を迎えた。神戸市中央区の東遊園地では「1・17のつどい」が開かれ、発生時刻の午前5時46分、「がんばろう 1・17」の文字に並べられた灯籠に向かつて遺族らが黙とうした。今年も新型コロナウイルスの感染拡大により、各地で集会などが縮小されたり、中止されたりして、自宅などでの追悼に変更した人も多い。記憶を継承・共有する追悼行事や防災訓練など、集うことで効果が上がる活動もあり、一層の知恵が求められている。（21、26、27面に関連記事）

### 緊急事態下 行事縮小

毎日新聞1月18日(月)朝刊より